



あらゆる所に付度・・・？

景気回復についてのNHK世論調査(2月13日報道)で「景気回復を実感しているのが8%で、66%は実感していない」とあった。一部の大金持ちが「景気回復を実感」しているが、庶民はふところが寂しく将来に不安。対象変えて統計操作

ネット上には「厚生労働省『毎月勤労統計』調査不正は安倍晋三首相への付度か、二〇一八年に『上方修正』も」なんてタイトルが出ている。アベに媚びて統計を取る対象を入れ替えて賃金が上がった事にしたのでは？

付度ばかり

森友の地中のゴミ問題、今治を国家戦略特区にした加計問題、今回の統計不正。どれにも付度が見え隠れする。極めつけは、消費税増税。物、場所、買ひ方で税率は5段階。還元ポイントも色々。コンビニでもチェーンの直営店と、フランチャイズで還元ポイントが違う。政権内であれにポイントを、これに：と云うのを付度した結果か？

カードで払えばポイントが付くから、カード利用が広まる。増税後9ヶ月はカード会社のピンハネ(手数料)制限は3.75%だが、その後は上げられる。カード会社とアベの密約を疑いたくなる。

一昔前の官僚なら「こんな事は出来ません。ポイント還元は大混乱」と云ったのではないか？「付度官僚」でアベノミクスは大混乱発牛器になるのでは？

あなたはどう思われますか？



除雪車活躍

長野県北安曇郡小谷村千国

二〇一九年二月

「朝一番早いのは新聞の配達・・・」なんて歌を、子供が小さい頃に歌った記憶がある。雪国で一番の早起きは除雪車だ。一晩に降り積もった雪を道路から除けないと、新聞配達も出来ない。大雪の朝は暗いうちから出勤だ。

大きな重機がなかった頃は、どうしたのだろうか？

かんじきをつけて道を歩くしか無かったのだろうか。昔の人の苦労が偲ばれる。

小谷村の予算を見ると道路除雪事業に二億四千万円。国道や県道は国や県が除雪するのだろうか。村の年間予算五六億円から考えると大変な額だ。国からの補助はある筈だが、それを潤沢にして村の隅々まで交通ができるようにすることが過疎化の最大の対策と思う。

